



## 恩納村立小中学校での環境学習の取り組み

恩納村では、教育委員会が策定した「恩納村教育ビジョン」に沿って、2024年より小学3年生から中学1年生で段階的にサンゴ関連学習に取り組むカリキュラムを進めています。

この学習では、地域の自然環境保全や文化継承の重要性の理解と、グローバルな視点で課題解決や持続可能な社会づくりに取り組む力を養うことも目的としています。

このように、SDGsを基盤とした持続可能な未来を見据えた教育がスタートしています。

### どんなカリキュラムがあるの?

- 小3** **サンゴを知り・サンゴを育てる**
  - ・サンゴについての講話 ————— 土屋先生 (琉球大学名誉教授)
  - ・サンゴの苗作り ※小学6年生で観察 ————— 恩納村漁協
- 小4** **恩納村の発展とサンゴ**
  - ・サンゴと産業、暮らしのつながりを学ぶ ————— 恩納村漁協、恩納村役場
- 小5** **陸の環境問題とサンゴ**
  - ・赤土がサンゴに与える影響を学ぶ ————— 恩納村赤土等流出対策協議会
  - ・グラスボートでサンゴの観察 ————— 恩納村漁協
- 小6** **サンゴが育む海の豊かさ**
  - ・シュノーケル サンゴと海洋生物の観察学習 ——— 恩納村マリンレジャー協会
- 中1** **恩納村の課題解決を考える**
  - ・講話 サンゴと共に生きる ————— 沖縄県美ら海教育学校
  - ・サンゴ保全の取り組み及びワークショップ ————— サンゴ保全協会



### 小学6年生サンゴの観察学習の様子 (2024.9.5)



恩納村立小学校全6年生参加で実施され、実際にサンゴ畑の観察を通して、自分たちの作ったサンゴ苗の成長経過を観察し、環境保全について考える機会となりました。

参加した児童からは、「いろんな種類のサンゴを知れました。白化しているサンゴでも、魚はたくさんいたので魚にとってサンゴはとても大切な存在なのかなと思いました」、「サンゴを守るために必要なことは、サンゴを踏まないことや赤土を海に流さないということ、僕はサンゴを守るために必要と思いました」などの感想がありました。

### 恩納村SDGsイベント 漂着ゴミの旅してきた物語を紐解こう!

海に漂着したゴミを拾って、ゴミが旅してきた経緯やストーリーを紐解きましょう!  
普段は降りることのできない、文化情報センターの内海にはどんなゴミがあるのか!?

- 日時 11月16日(土) 14:00~15:00
- 対象 どなたでも(子どもは保護者同伴)
- 場所 恩納村文化情報センター
- 参加無料【定員20名】
- 内容 内海でのゴミ拾いの後、漂着した経緯や
- 申込 二次元コード・電話
- ストーリーを考えるワークショップ
- ガイド 恩納村SDGs推進事務局(小田、松原)



お問い合わせ:企画課 ☎966-1201